〔科目名〕	〔単位数〕	〔科目区分〕
経済統計	2 単位	専門科目・基幹科目

〔担当者〕	〔オフィス・アワー〕	〔授業の方法〕
七宮 圭	**時間:** 第 1 回講義時のアンケートをもとに決定 **場所:** 509 研究室	講義

〔科目の概要〕

物価指数や GDP、失業率などニュースや新聞で取り上げられている経済の状況や規模を「測る」ために用いられる統計についての意味や資料の解釈、データの入手方法などを中心に学習します。

また、統計学の 1 つの分野である「記述統計学」と呼ばれるデータの特徴を把握するために数値や表、グラフを使って集計・表現する方法などを学習します。

なお、第4回に予定している青森の統計については、青森県企画政策部統計分析課からゲストスピーカーをお招きして、統計の数字が実際にどのように作成されているのかということや、青森県の統計およびそれに関する制度についての解説を予定しています。 日程や内容が変更となる可能性がありますので、予めご了承ください。

〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕

現実経済で起きたことを把握するために様々な統計的指標が計算され、それらの数字を踏まえたうえで経済学の理論に基づいた議論や政策提案が行われています。それらの議論や政策提案を理解するためにも、根拠となっている統計的指標の意味を理解する必要があります。また、他の授業でのレポートや卒業研究で論文を作成する際にも役に立つでしょう。

関連科目としては、以下のものがあげられます。

- 統計学:「経済統計」で学ぶ記述統計学はデータの集計やグラフ、表の作成が中心ですが、確率論を背景として与えられたデータから全体を推測する推測統計学を学習する科目です。
- 計量経済学:経済学で使用する数理モデルにデータを当てはめ、統計分析をするための理論として発展した科目です。
- 実証経済分析:統計学と計量経済学で学んだことを応用して、データをもとに実際の経済の状況を分析する科目です。

これらの科目を履修する際には高校時代に学んだ数学の知識、「経済数学」の授業で学んだことや、データの整理と解析のために Microsoft Excel の知識などが役に立つでしょう。

〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕

統計的指標の意味が分かること、資料の意味が分かること、統計的記述に慣れること、そして「統計学」や「計量経済学」などの科目を学ぶ際の基礎を作ることを到達目標とします。

〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕

内容の理解を深めるための工夫として、資料の改良を行います。

〔教科書〕

なし。

※毎回資料を配布する予定です。欠席や紛失等で資料が必要な場合はオフィス・アワーの時間に研究室に取りに来てください。

〔指定図書〕

なし。

〔参考書〕

谷沢弘毅 「コア・テキスト 経済統計」新世社、ISBN:9784883840960

※第Ⅰ部基礎編に沿って授業を行いますが、出版後の統計制度の変更に従い、内容を大幅に追加・修正します。無理に購入する必要はありません。

他は授業中に紹介します。

〔前提科目〕
なし。

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)
- レポート: インターネットや図書館などを利用した簡単な調査と考察
- 宿題: 記述統計学に関する計算問題
- 試験: 内容は正誤問題を予定

〔評価の基準及びスケール〕
評価のウェイトは
- レポート: インターネットや図書館を利用した簡単な調査と考察:10%
- 宿題: 記述統計学に関する計算問題:30%
- 試験: 60%

として、合計点を計算し、以下のように成績を評価します。

評価	点数の範囲
A	80 点以上
B	70 点以上 80 点未満
C	60 点以上 70 点未満
D	50 点以上 60 点未満
F	50 点未満

ただし、全体的に点数が悪い場合には得点の分布状況をもとに評価の点数の範囲を適宜下方修正します。
また、レポートや宿題を締め切り後に提出した場合は、理由に応じて点数を減らします。

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕
経済の様々な状況を測るための指標を簡単に見ていくことになりますので、内容が広範囲にわたります。基本的には参考書の内容に沿って講義をしていきますが、制度が変わってしまったので、配布資料だけではなくインターネットを使って各省庁のホームページを調べてみることもお勧めします。

〔実務経歴〕
該当なし

授業スケジュール

第1回	テーマ(何を学ぶか): イントロダクション、経済のしくみと統計体系 内 容: 経済学と統計学の関係、授業の大まかな内容の説明 参考書:谷沢弘毅 「コア・テキスト 経済統計」新世社、第1章
第2回	テーマ(何を学ぶか):景気統計① 内 容:景気変動、在庫・設備投資の循環変動 参考書:谷沢弘毅 「コア・テキスト 経済統計」新世社、第2章
第3回	テーマ(何を学ぶか):景気統計② 内 容:景気動向指数、ビジネス・サーベイ 参考書:谷沢弘毅 「コア・テキスト 経済統計」新世社、第2章
第4回	テーマ(何を学ぶか):青森の統計 内 容:青森県企画政策部統計分析課からゲストスピーカーをお招きして、統計の数字が実際にどのように作成されているのかということや、青森県の統計およびそれに関する制度についての解説を予定。 資料配布予定
第5回	テーマ(何を学ぶか):SNA 統計① 内 容:新しい SNA の基本的な考え方、生産支出勘定、部門別総生産と所得支出勘定 参考書:谷沢弘毅 「コア・テキスト 経済統計」新世社、第3章

第6回	テーマ(何を学ぶか):SNA 統計② 内　容:資本調達勘定、海外勘定、推計方法・デフレーター 参考書:谷沢弘毅 「コア・テキスト 経済統計」新世社、第3章
第7回	テーマ(何を学ぶか):物価統計① 内　容:価格現象の統計体系、物価指数の作成方法、消費者物価指数 参考書:谷沢弘毅 「コア・テキスト 経済統計」新世社、第4章
第8回	テーマ(何を学ぶか):物価統計② 内　容:消費者物価地域差指数、企業物価指数、そのほかの価格統計 参考書:谷沢弘毅 「コア・テキスト 経済統計」新世社、第4章
第9回	テーマ(何を学ぶか):人口統計 内　容:人口現象の把握方法、人口静態統計、自然増加統計、社会移動統計 参考書:谷沢弘毅 「コア・テキスト 経済統計」新世社、第5章
第10回	テーマ(何を学ぶか):データの身近な分析方法① 内　容:度数分布表、ヒストグラム、代表値① 参考書:谷沢弘毅 「コア・テキスト 経済統計」新世社、第6章
第11回	テーマ(何を学ぶか):データの身近な分析方法② 内　容:代表値②、 参考書:谷沢弘毅 「コア・テキスト 経済統計」新世社、第6章
第12回	テーマ(何を学ぶか): 総復習 内　容:第1回から第11回までのまとめ
第13回	テーマ(何を学ぶか): データの身近な分析方法③ 内　容:変化率と構成比、弾力性と寄与度 参考書:谷沢弘毅 「コア・テキスト 経済統計」新世社、第6章
第14回	テーマ(何を学ぶか): データの身近な分析方法④ 内　容: ジニ係数、ローレンツ曲線、ハーフィンダール・ハーシュマン指数
第15回	テーマ(何を学ぶか): データの身近な分析方法⑤ 内　容: 分割表、散布図、相関係数
試 験	